

(参考様式5)

平成22年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
群馬県	渋川市	羽場坂・上狩野地区	H17～H21	H17

1. 施策ごとの評価

(1) ソフト

① 施策の内容：土地基盤整備を契機とした担い手農家に対する農地の集団化及び流動化を図った。(土地利用調整支援)

② 施策の実績

① 担い手農家への農地集積推進部会会議の開催

・平成17年度に推進部会会議を1回開催し、27人が出席。

③ 施策の効果

① 担い手農家への農地集積推進委員会会議の開催

高齢者・後継者のいない農家・兼業農家の実態を把握し、アンケート調査の結果を踏まえ、集積を図った結果、担い手農家への集積率が当初17.7%に対し平成22年3月時点では35.5%と約2倍の集積が図れた。

(2) ハード

① 施策の内容：地形図の作成に併せて農地集団化のための資料を収集し、未整備地や遊休農地情報を整理する事により担い手への農地集積を進めるための基礎条件を整え、農業経営の効率化と生産の向上・安定を図る事業導入を推進する。

② 施策等の実績

ア 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	事業量	事業主体	着手年度	完了年度
基盤整備促進	農用地等集団化	A=53.9ha (羽場坂) A=35.6ha (上狩野)	赤城西麓土地改良区	H17	H17

事項	単位	計画時 (H17)	目標値 (H21) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	
計画前後地区内に占める担い手への農用地利用集積率等の増加分	%	17.7	34.9	35.5	103.49	
基盤整備事業の着手までの年数(上狩野地区)	年	—	3	—	0	

イ 施設等の利用実績(該当なし)

③施策の効果

貸し手農家と担い手農家の農地賃貸借を進め、農地流動化により農地集積を図り、担い手農家の規模拡大を推進、経営の効率化等、地域農業の発展が期待される。

2. 指標の達成状況に関する評価

	成果指標 (単位)	基準値 (16年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必 須	担い手への農 地利用集積率 等の増加分 (%) (羽場坂地区)	17.7%	34.9%	17.2%	35.5%	17.8%	103.49%
	基盤整備事業の 着手までの年数 (上狩野地区)	—	3ヶ年	3ヶ年	—	—	0%
地 域							

3. 目標の達成状況に関する評価

(羽場坂地区)
羽場坂地区実行委員会を中心に、貸し手農家と担い手農家の農地賃貸借を進め、農地流動化により農地集積を図り、担い手農家の規模拡大を推進、効率的な農業経営と農業者が地域活動の主体者として貢献できることとなり、目標が達成できた。

(上狩野地区)
本事業の主目的である、農地の権利関係の把握や換地設計基準の作成は完了した。担い手候補者への農地利用集積計画については、受益者の合意形成を図っているところであるが、事業計画構想における作付割合の高い花木の取り扱いや、農業投資への不安を持つ高齢者等から計画内容に対する不安感が提起され、農業基盤整備事業の補助事業採択に至らず、事業成果の有効活用が図られない状況にある。

4. 総合評価

(羽場坂地区)
当該地区の農地は小規模に分散されており、農道は狭小で屈曲しているため早急な整備が望まれていたが、基盤整備事業を実施することにより、担い手の規模拡大・営農労力の節減・低コスト化による経営の安定・耕作放棄地の解消等、農業展開はもとより地域の活性化が期待でき、計画どおり達成できたといえる。
なお、達成状況については、経営体育成促進事業実施状況報告書を基に渋川市が評価を行うとともに、結果を公表している。

(上狩野地区)
計画目標年次からは遅延しているが、担い手候補者への農地利用集積については、花木耕作者を候補者とするを含めて取り組み、また、排水計画、営農計画等、実行委員会を中心に受益者の合意形成を図りながら事業計画案の作成を図っており、補助事業採択に向け、最終的には事業目標を達成できると考えられる。

(都道府県の意見)

(羽場坂地区)

基盤整備事業及び担い手への農地利用集積が進んだことから、当該地域の作物の生産振興及び農業経営の改善・安定が期待できる。

(上狩野地区)

基盤整備事業の着手は目標年次より遅延しているものの、土地改良区をはじめ、地域住民も含めた中で、特に土地持ち非農家の相続が課題となっているものの合意形成に努めており、本事業の成果を活用し、農業を核とした元気な地域づくりがなされるものと期待している。